

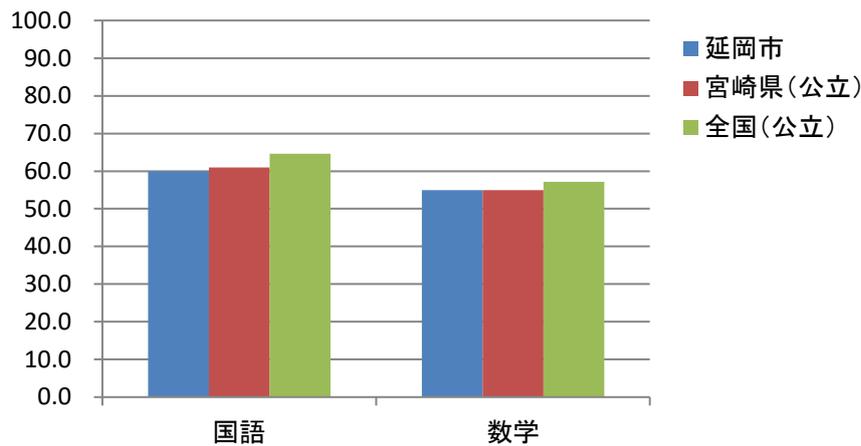
令和3年度「全国学力・学習状況調査」 延岡市の調査結果について（中学校）

延岡市教育委員会

※ 調査結果は学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面であります。
「平成3年度 全国学力・学習状況調査に関する実施要項」（文部科学省）より

1 平均正答率の状況

※平均正答率 … 個人の正答率（全設問における正答数の割合）を足し合わせ、生徒の人数で割った値



【全体の傾向】

延岡市の生徒の平均正答率と全国の平均正答率を比べると、国語・数学ともに、全国を下回っており課題が見られます。

領域で比べると、国語では、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において、全国平均を下回っています。数学では、「資料の活用」において、全国平均を上回っており、「数と式」、「図形」、「関数」において、全国平均を下回っています。

調査時間の解答時間について、国語、算数ともに、6割以上の生徒が、「時間が余った」「ちょうどよかった」と答えています。

2 各教科の状況

【国語】

- 「相手や場に応じて敬語を適切に使う」に関する問題で、全国平均を上回っています。
- 主に、「場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する」、「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ」、「事象や行為などを表す多様な語句について理解する」、「伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く」、に関する問題で、課題が見られます。

【数学】

- 「整式の加法と減法の計算ができる」、「与えられたデータから中央値を求めることができる」、「相対度数の必要性と意味を理解している」、「データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる」に関する問題で、正答率が高く、全国の平均正答率を上回っています。
- 主に、「目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる」、「数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる」、「平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明することができる」に関する問題で、課題が見られます。

3 生徒質問紙調査の状況

【夢・目標について】

「自分には、よいところがある」、「将来の夢や目標を持っている」、「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている」、「人の役に立つ人間になりたいと思う」について、肯定的な回答をした生徒の割合が、全国平均より高いことがわかりました。

【生活習慣について】

「朝食を毎日食べている」、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている、起きている」について、肯定的な回答をした生徒の割合が全国平均より高いことがわかりました。

【学校生活について】

「人が困っているときは、進んで助けている」、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」、「友達と協力するのは楽しい」について、肯定的な回答をした生徒の割合が全国平均より高いことがわかりました。

【学習について】

「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強をする」、「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」について、肯定的な回答をした生徒の割合が全国平均より高いことがわかりました。

【地域社会について】

「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」について、肯定的な回答をした生徒の割合が全国平均より高いことがわかりました。

4 学校質問紙調査の状況

【小中連携について】

「前年度までに、近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行っている」、「前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った」について、肯定的な回答をした学校の割合が全国平均より高いことがわかりました。

【研修について】

「生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている」、「教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている」、「全国学力・学習状況調査問題を活用し、校内研修等を通じて、授業の改善を行っている」について、肯定的な回答をした学校の割合が全国平均より高いことがわかりました。

【指導について】

「指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている」、「全国学力・学習状況調査の問題や結果を、教育活動改善のために、学校が独自に実施するテストや学力・学習状況調査等で作問する際に参考としている」について、肯定的な回答をした学校の割合が全国平均より高いことがわかりました。

【授業について】

「前年度までに、授業において、生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた」、「学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の生徒が意思決定できるような指導を行っている」について、肯定的な回答をした学校の割合が全国平均より高いことがわかりました。